

薬学英語3A

(Pharmacy English 3A)

担当教員

教授	佐藤 毅
助教	朝比奈 裕子
非常勤講師	天野 博夫

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
外国語	3年次 前期	講義	1.5単位	必修

【概要】

本講義では、専門教科書レベルの英語で書かれた文章を読み、その内容に関する講義を受けることで、主に有機化学（求核置換反応）、生化学（タンパク質の構造）、薬理学（生体膜透過）に関する基礎知識と学術専門用語などの確認を行う。講義はオムニバス方式とし、有機化学、生化学、薬理学を専門とする教員がそれぞれの講義を行う(1-12回)。13回講義においては対面型講義内試験（「これまでの内容確認（試験）」）を行う。14回講義は以後の文献検索で用いることとなるPubMedに関して、その使用法等に関する講義を行う。1-12回、14回の講義はオンデマンド型、13回講義は対面型で行う。

【授業の一般目標】

これまで専門科目の講義で学んできた内容を英語で理解し、確認することを目標とする。有機化学、生化学、薬理学の専門的事項に関して、その理論等を英語で表現できるようになることを目指す。

[関連する卒業認定・学位授与方針] DP2

【準備学習(予習・復習)】

特に復習に力を入れてほしい。学習項目の順序／内容は入れ替わることがある。本講義内容の予習復習等には毎週150分程度の時間が必要となる。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義1-1	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
2	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義1-2	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
3	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義1-3	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
4	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義1-4	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
5	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義2-1	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
6	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義2-2	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
7	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義2-3	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
8	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義2-4	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
9	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義3-1	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
10	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義3-2	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
11	化学、生化学、薬理学系専門	佐藤・天	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さら

	的事項における英語の講義3-3	野・朝比奈	に英作文を行うことで、その内容を表現できる。
12	化学、生化学、薬理学系専門的事項における英語の講義3-4	佐藤・天野・朝比奈	有機化学、生化学、薬理学系専門的事項に関して、英文教材を読み理解できる、さらに英作文を行うことで、その内容を表現できる。
13	これまでの内容確認（試験）	佐藤・天野・朝比奈	1-12回の内容に関する英文が理解でき、英作文できる。
14	Pubmedの使い方に関する講義	佐藤・天野・朝比奈	PubMedを用いることで学術論文の検索ができる。
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 授業中に配るプリント等

【成績評価方法・基準】

試験(70%)、提出物(30%)で評価を行う。

【評価のフィードバック】

試験に関するフィードバックは定期試験終了後に、manaba上に公開する。

【オフィスアワーなど担当教員に対する質問等の方法】

初回講義に知らせる。